

関東明教 第24号 目次

母校沿革	4
同窓会関東支部沿革	5
校歌	6
巻頭言	
バトンを永遠につないでいきましょう	
日野 恵一(支部長) S 53	8
学ぶことは、必ず続けられる	
村田 裕司(同窓会長) S 51	9
可能性を閉ざさない	
和田 真志(校長)	10
2022年同窓会総会・懇親会報告	12
収支報告	18
会則	20
令和4年度 役員名簿／寄付者／物故者	21
令和4年度 会費納付者一覧	22
追悼 大江健三郎さんを偲ぶ	S 28、同期生
追悼 小椋勇記夫君を偲ぶ	S 32、同期生
追悼 升田尚宏君	原田信彦(S 60)
小ホール講演会	28
「新型コロナウイルス」副反応「疑い死」の実相	29
特集「様々な分野で活躍するOB・OGを訪ねて」	
吉村透留 S 58	32
富田智子 S 60	34
越智俊城 S 62	36
特集「演劇部、ボート部の栄光」	38
特集「ウィズコロナ」	40

学年報告

S 30／今日の頃	永富 京子	46
S 31／「八起会」今年も上野の森美術館に参集!!	大西 千恵	47
S 32／32会は今年4年振りの開催、お集まり下さい	依田のぞみ	47
S 39／今年こそは関東39会で再会を!!	前田千恵子	48
S 41／関東41会3年ぶりに開催	河村 浩	48
S 44／3年振りの同期会(獅子の会)開催	曾我 好志	49
S 45／古希が来てまだ古希使われて古の元希	白戸 伸一	49
S 50／60歳になつたら自立?の準備をすべし	西原 申介	50
S 51／東高入学から50年経過	佐々木主税	50
S 52／3年ぶりにリアル新年会&リモート参加も!	武智 順	51
S 53／18回目も3年連続のオンライン開催	安齋 倫明	51
S 54／S 54卒同期会(100年会)関東支部リユニオン	瀧口 斉	52
S 56／3年ぶりのリアル同期会を開催!	竹中 啓介	52
S 57／還暦前のオンライン同窓会	丸田 稔	53
S 58／最近のできごと	曾我 寿孝	53
H 3／久しぶりの再会!&久しぶりの同窓会!	下川 正洋	54
H 4／本部明教「卒業30周年を迎えて」	吉田 治彦	54
学年掲示板		
S 48／S 48卒の皆さん、お元気ですか!以下、近況です	上田 吉徳	55
H 16／同期会!	A. I.	55

投稿

「老師村上光照」とわたし

船引 恭平 S 32 … 56

胃カメラ

鈴木 (阪本) 和子 S 39 … 58

エデンの国・アラビアンナイト

檜垣 俊雄 S 42 … 60

故郷への想い

下村 修 S 44 … 62

関東支部で紡いだ「愛」

緒方 郁夫 S 52

大森 俊祐 H 24

(久松) 未空 H 29 … 64

40年ぶりのキャンパスライフ (Long Train Running)

2022年12月11日(日) 13:00～16:15

「未来へつなぐ松山国際フォーラム」の記録に代えて

大野 裕 S 53 … 66

3年ぶりの欧州調査出張

「コロナ禍とウクライナ紛争の中で

上河原 献二 S 54 … 68

いざ、半蔵門！国立劇場観覧記

名本 祐玖也 S 59 … 70

祖父の足跡を訪ねて見えて来たもの

澤田 乃理子 H 11 … 72

伊予生糸の白無垢と、東高のご縁

黒田 映李 H 13 … 74

社会人1年目の学びと葛藤

青野 純也 H 30 … 76

「傘寿の会」から

78

部活めぐり

神様からのごほうび

伊藤 さえこ S 53 … 81

懐かしき中学校を訪ねて

松山市立高浜中学校

伊藤 照秀 H 5 … 83

明教講座

「文系の仕事の選択 ～トヨタでの女性の働き方～」

池内 亜香里 H 23 … 85

母校だより

田村 敏明 H 4・大屋 満徳 H 5 … 90

本部・支部だより

93

OB・OG活動情報

98

関東支部部活動報告

102

ブックス

105

ニュース&トピックス

108

追悼 磯辺裕一君 (S 53)

111

名刺広告

113

企業広告

124

事務局だより

150

編集後記

152

関東支部総会・公演・懇親会 開催のお知らせ

156

■題字 柴田 祐昭 S 31

なお、本文中の時制の表示、筆者ならびに登場人物の赴任地や肩書や役職などの人事情報などは、すべて事象が起きたときあるいは執筆時のときのものになっています。筆者のそのときの気持ちや尊重しておりますので、発刊時とは異なっていることがあります。したがって編集部として「今年」を「去年」に手直ししたり、「元」や「当時」などの表記も付記したりはいたしません。ご了承ください。



表紙 吉田 富美 (S57)

タイトル：国重要文化財 萬翠荘

冬晴れの日の萬翠荘。洒落た屋根の形と色、重厚なエントランスとバルコニー。建物全体から当時の最高の粋が感じられます。実際にスケッチしてみると、更に細部の美しさに気付き、題材にして良かったと思いました。坂の上ミュージアムのフロアから少し遠目に眺めるのも、お気に入りです。今年、竣工101年目になるそうです。